

「一箱古本市in現代市」
いまいち
店主マニュアル

この度はニイガタブックライト「一箱古本市in現代市2012」にお申込みいただき、ありがとうございました。お申込を確認させていただいた店主様に送付しております。

ルールを守り、当日皆さんで楽しんでいただけるよう、こちらの「店主マニュアル」をよく読んでからご準備・ご参加ください。

よろしく願い致します。



ニイガタブックライト

事務局(直接のお問合せ)

〒951-8124 新潟市中央区医学町通2番町10-1 ダイアパレス医学町101 北書店
お電話でのお問い合わせ:090-3753-9545(亀貝太治)/025-201-7466(北書店・佐藤雄一)

メールでのお問い合わせ:kamegai@niigatabooklight.com

→公式WEBサイト(「ニイガタブックライト」で検索)の「お問い合わせ」より

準備編

【以下の持ち物を準備をお願いします】

- 古本(スリップ(後述)の抜けがないか確認してください) 予備スリップ(後述)
- 販売に必要なイス・テーブルなど(事務局ではお貸しできません)
- 本を入れる箱(材質などは自由です。) 店名の看板・POP類・飾り
- 大きめのビニール袋など(急な雨の際、箱の上から掛けます。半透明より透明がベストです。)
- 食事やトイレ休憩時、一時的に本に掛けておく「布」や「休憩中の紙」など
- 現金を入れるケース(身に付けられるものにしてください)
- 釣銭(必須です!釣銭両替の用意は事務局にはありません。自己責任でお願いします(後述))
- 日よけの準備**(会場は日差しが強いです。パラソル・日傘の準備があると安心です)
- その他販売する雑貨など(価格が分かるように)
- 店主マニュアル 私物を置く為の敷物 筆記用具 電卓



a) 本の冊数について

一度に販売できる冊数は、販売する「箱」に収まる数量までとします。また、この中に収まる限り、本以外の雑貨を販売してもOKです。

箱の中身が売れた場合の補充は、自分で持てる限りなら、いくら持ってきてもOKです。ただし、他の人のジャマにならないように置いてください。補充分を箱の外に置いたりして同時販売するのは不可です。必ず、箱の中で下に敷くか、自分のスペース内で背面に置くようにして下さい。(お1人様のスペースは 左右1m×奥行2mです。)

b) 箱について

「箱」は、ダンボール箱、木箱、トランク、カートなど、両手で持てるサイズまでなら、何でもけっこうです。本棚や什器を足して、**高さを高くしても構いません**(危険のない程度に)。箱から飛び出る看板や手書きPOP、ペイントしたり小物で飾るなど、見た目に趣向を凝らす工夫は自由にやってください(あまり横にはみ出ないように)。**明らかに横に大きく、周りに迷惑がかかる場合は、片づけていただく場合があります**。畳める箱は持ち運びに便利です。ディスプレイのアイデアは、WEBサイト掲載写真なども参考になるかもしれません。独自のしおりやおまけ等を付けるのも楽しいです。**箱を載せるテーブルや、座るイスなどはすべて各自で準備ください。事務局側では用意がありません。**

c) スリップについて

【スリップとは?】

出店する本には、各自が屋号・書名・売価を書いた「スリップ」を**挟み込んで**いただきます。「スリップ」とは、新刊書店の本に挟まっている書名や値段を書いた紙、二つ折りでページに挟み込まれている、アレです。サイズは自由ですが、4.5×24センチが目安。面倒であれば二折でなくとも、**しおりのようなものでも、ポストイットに価格を記すだけ**でも構いません。巻末の見本をコピーして切り抜くと右図のようなスリップを作る事ができます。



- また、スリップは、店主各自の売上げ集計に必要なものです。(販売終了時には、売上げ冊数と合計金額を記入した「**売上集計用紙**」を提出していただきます。)スリップがないと、売上げ集計の確認が大変になります。
- スリップは本をお買い上げのお客様には渡りませんので、スリップを名刺代わりに、とお考えの方は、スリップとは別に、オリジナルの葉などを挟んでおくとよいかもしれません。

- 「予備スリップ」の用意について：スリップ紛失や、本の補充の際に白紙のスリップがあると便利です。
- 本は手許に残りませんが、スリップは残ります。後々思い出にもなりますので、ぜひ書名入りスリップの制作をオススメします。他にオリジナルブックカバーなど、アイデア次第でさまざまに一箱古本市を楽しんでください。
- 何らかの理由でスリップ付けができない場合でも、当日お渡しする「**売上集計用紙**」に**必ず、当日の売上げ、売上げ冊数をご記入し**、お帰りになられる前にスタッフまでご提出下さい。

d) 値付について

値付は店主が自由に行ってください。集計の関係上、最低10円単位としますが、釣り銭対応が煩雑になるのを避けたければ**100円単位の値付をオススメ**します。

e) 釣り銭について

当日のお会計は、すべて参加店主の自己責任でお願いしています。十分な釣り銭のご用意をお願いします。申し訳ございませんが、**事務局での両替はいたしておりません**。

釣り銭の目安(あくまで一般的な目安です) 合計 ¥25300

1000円札：20枚程度 500円玉：4枚程度

100円玉：30枚程度 10円玉：30枚程度

値付の際に、10円単位を無くし最低でも100円単位にすると、釣り銭の対応が格段に楽になります。オススメです。

f) 一箱の事前送付について

古本の入った箱を、事前に北書店に送っていただくことができます。(送料はご負担ください)
以下の宛先に、**6/9(土)着指定**にてお送りください。
当日朝9:00頃に現地に運んでおきます。

〒951-8124 新潟市中央区医学町通2番町10-1 ダイアパレス医学町101 北書店

「一箱古本市取り置き」係 6/9(土)着指定

TEL:025-201-7466



当日編

いよいよ当日です。朝9時に現場に集合をお願いします。
雨天の場合も基本決行しますが、参加は皆様それぞれのご判断におまかせします。

【タイムテーブル】

- 9:00** 店主集合・受付・参加費徴収・（ネームカード・売上集計用紙・アンケート配付）
～販売場所への移動、箱の設置、販売開始準備
- 10:00** 販売開始
- 14:45** 各自売場にもどる
- 15:00** 販売終了（売上集計用紙・アンケート回収）
箱の片付け後、いったん解散
- 17:00** 打上げイベント（新潟市役所前・北書店にて・会場より徒歩20分）
各賞表彰、ゲストの南陀楼綾繁さんや石橋毅史さんにお話を伺います。
その後会費¥2,000にて懇親会を開催します。奮ってご参加ください。

a) 雨天の場合

現代市同様に雨天決行ですが、参加や撤収はそれぞれの店主様のご判断におまかせします。
当日朝に参加費をお支払いいただいた後は返却できませんので、予めご了承ください。

【テントの中止について】

今回の一箱古本市では当初「全店の上にテントを張ります」とお伝えしていましたが、諸事情により中止とさせていただきます。会場の路幅に比べテントが大き過ぎ非常時の車の通行ができない、開場までに全テントを立てるスケジュールが組めない(他に組む場所がない、お店の上で組めない、ストックしておく場所がない、移動距離が長い、移動時に困難が予想される)などが主な理由です。
一度お伝えしました内容が変更になってしまい、皆様には大変ご迷惑をおかけいたします。申し訳ございません。

参加費は、テントレンタルがなくなりましたので、昨年同様¥1,000とさせていただきます。

b) 集合場所について（9:00）

集合場所は、学校町通り菅原神社前です。（別紙マップをご覧ください）

9時以降、販売場所のご案内を致します。また、首から下げるネームプレート、売上集計用紙、アンケート用紙をお渡しいたします。

c) 販売準備について (9:15~10:00)

販売場所は受付を終了された店主様からご自由に選んでいただきます。

道路上のマーキング(予定)に従い販売場所を決めてください。販売開始は10:00です。

時間よりも早く本を見始めるお客さんがいらっしゃいますが、販売はあくまで10時からにしてください。そういうお客さんが気になる場合には、箱に布をかぶせるのも一案です。

店名が分かるように、できるだけハッキリと店名の書かれた掲示をお願いします。

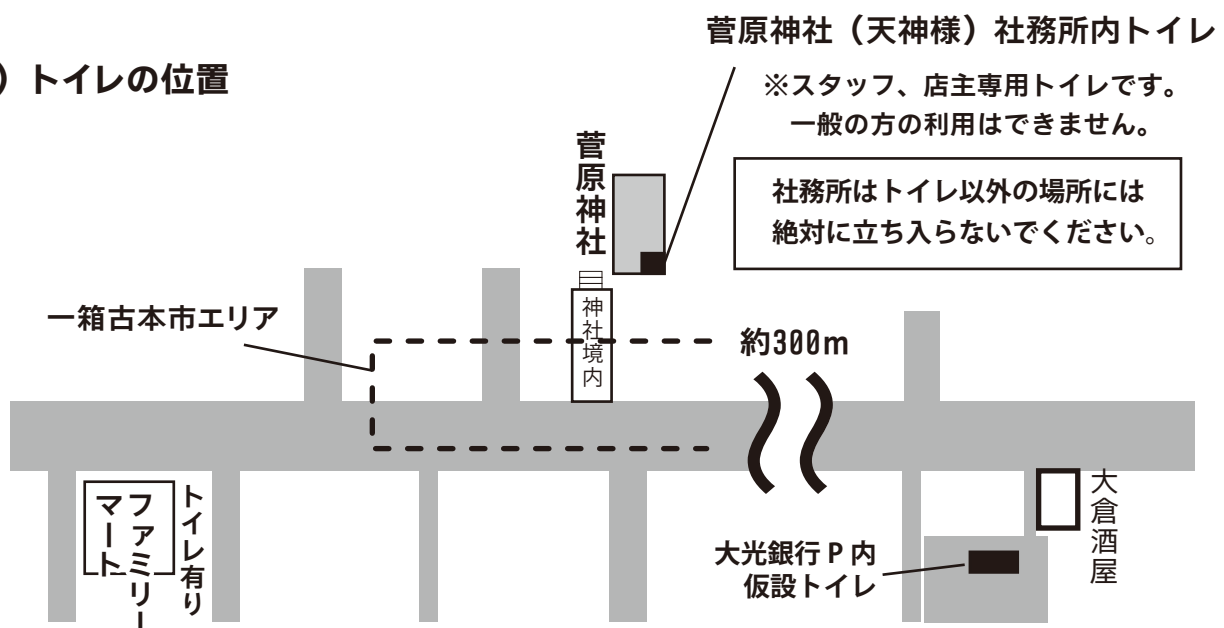
【お車でお越しの場合】

10:00から学校町通が通行止めになり、車の出入りができません。お車での荷物を運びの方は、10:00までに学校町から車を退出させてください。駐車場に関しては別紙地図の注意をご覧ください。学校町通りに再び車が入れるようになるのは15:00以降です。

d) 店番の仕事について(10:00~15:00)

- 休憩をとる時は、お持ちの布などを箱にかぶせ「休憩中(〇〇時に帰ります)」などお知らせを掲示してください。
- 売上げやスリップの管理は暇を見つけてこまめに記入することをお勧めします。売上げの集計は意外と手間がかかります。販売終了時にはすみやかに「売上集計用紙&アンケート用紙」の記入、提出ができるよう、お願い致します。
- 昼食も各店主の自主責任でお願いします。商店街に迷惑のかからないように、配慮をお願いします。現代市でも食事販売のブースがあります。一箱古本市会場内には移動販売車の「うめやんキッチン」さんがいらっしゃって、カレーの販売を行います。近くにコンビニもあります。

e) トイレの位置



f) 撤収について(15:00～)

(時間前に売る物がなくなったら閉店も可能です。売上集計用紙とアンケートを事務局に提出ください)。

14:45になったら、各自の売場に戻ってください。

15:00になったら一斉に販売を終了します。**売上集計用紙とアンケート用紙に必要事項を記入、提出して下さい。**ネームカードを返却し、箱と本を片付け、周囲のゴミを拾ってお持ち帰りください。打上げイベントまでいったん解散となります。

g) 打上について(17:00～)

北書店にて、17:00より打上げイベントがあります。内容は、ユニークな店主やよく売れた店主の表彰、南陀楼綾繁(なんだろう・あやしげ)さん、石橋毅史さんのトーク、その後に懇親会を予定しています。懇親会に参加される場合、飲食代¥2,000(予定)を頂戴します。

なんだろうあやしげ

南陀楼綾繁さん(編集者・ライター):東京の谷根千(谷中・根津・千駄木)で2005年にはじまった「不忍ブックストリートの一箱古本市」の発起人。その経緯や、全国のブックイベントへと広がっていった様子をまとめた新書『一箱古本市の歩き方』(光文社新書)も著しています。

いしばしたけふみ

石橋毅史さん(ノンフィクションライター):出版社勤務を経て、1998年に新文化通信社入社。出版業界紙「新文化」の記者を務める。2005年からは同紙編集長。2009年に退社、フリーランスに。2011年『「本屋」は死なない(新潮社)』発売。

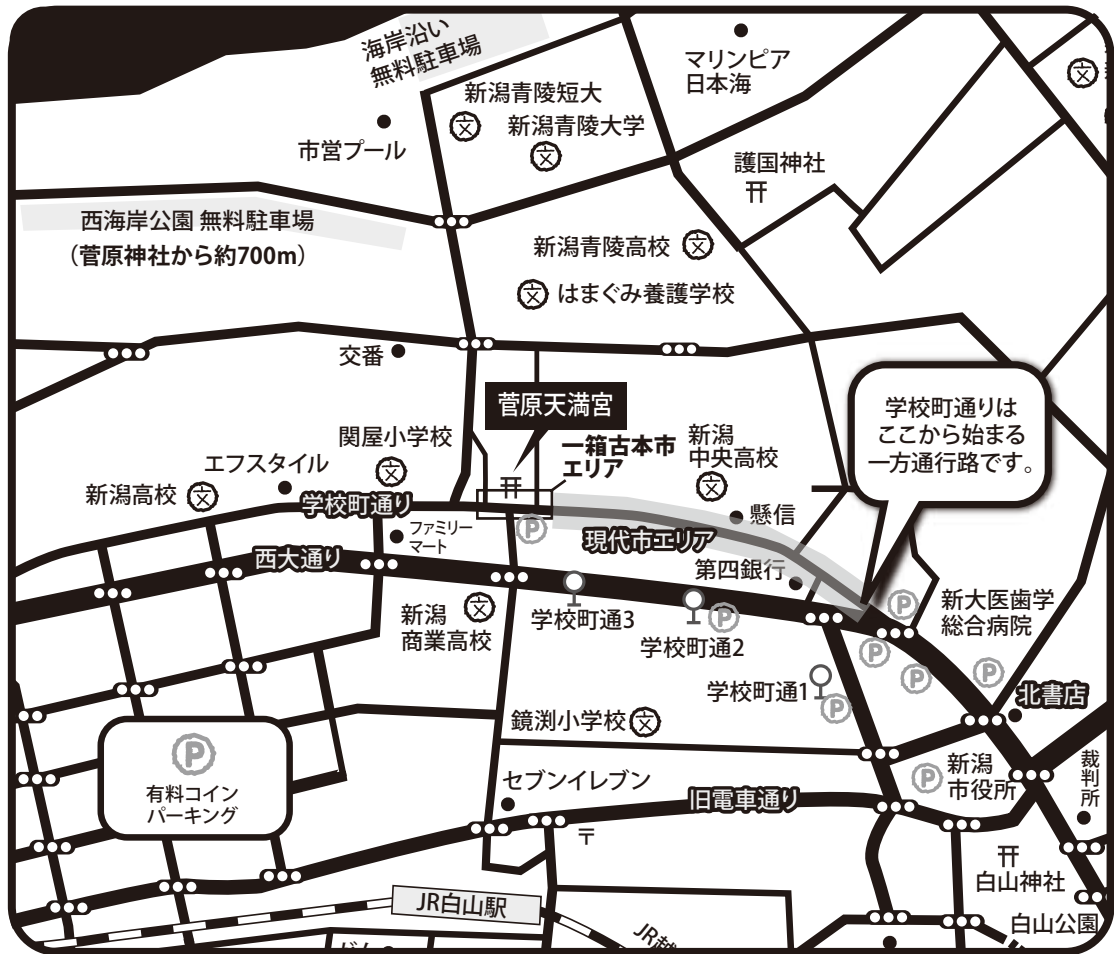
h) 注意事項

- 会場を提供していただいている「現代市」のスタッフの皆様や、軒先路をお借りする商店街の皆様には、感謝の意をもって接してください。**両替やトイレなどで迷惑をかけるようお願いしません。**
- 荷物を置けるスペースは、お一人様左右1m×奥行2mしかありませんので、販売物以外の手荷物はスペース内に納まるようにお願いします。
- お客さんには丁寧に対応するようにしましょう。
- 騒がしいと周囲の住民の方の迷惑になります。なるべく静かにお願いします。
- ゴミは各自で持ち帰ってください。

この度はご出店のほど、本当にありがとうございました。
学校町で2回目の一箱古本市が、素敵な一日になることを願っています。
今後とも、ニイガタブックライトをよろしく願いいたします。



現地地図・交通のご案内



【お車のご案内】

- 関越（北陸）自動車道・新潟西料金所から約30分。磐越自動車道・新潟中央料金所から約15分
 - 会場には無料駐車場がありません。近隣のコインパーキング等をご利用ください。徒歩15分の所に「西海岸公園」の無料駐車場もあります。折畳み自転車などを積んで来ると便利です。
- いずれにしても9:00前後に現地にきて荷物を下ろしていただき、その後近くの駐車場へ車を移動して、10:00までに戻ってきていただく必要があります。

【公共交通機関のご案内】

- バスの場合：新潟駅万代口バスターミナル7or8番線乗り場から
 - 内野営業所行き ● 信楽園病院前行き ● 信濃町経由・西部営業所行き
 - 信濃町経由・西循環線のいずれかに乗車。
 約15分後、「学校町三番町」で下車。徒歩1分。
- 電車の場合：JR越後線「白山駅」（新潟駅から約7分）から徒歩約10分
- タクシーの場合：JR新潟駅から約10分。「中央高校より少し進んだ所にある「天神様（菅原神社）」まで」と伝えてください。

※公共交通機関ご利用の店主様は、「キャリアカート」などで本を運ぶと便利です。

一箱本送り隊へ送る本を集めます。

「一箱本送り隊」とは…

一箱古本市のノウハウとネットワークを生かして、東北大震災の被災地で「求められている」本の情報を集め、「本好きのプロ」の目線でセレクト、リクエストに応じて「本が読みたい!」という被災地の皆さんに送るプロジェクト。手に取った被災地の方々に思いも届くように、箱ごと、本ごとにPOPやメッセージなどもつけ、仮設住宅、避難所、各種イベントなどで配布したり、届けたりします。一箱古本市の本来「不忍ブックストリート」を中心に、各地のブックイベントの有志をネットワークして、本や資金を集めています。

詳しくは「一箱本送り隊」の公式ホームページをご覧ください。

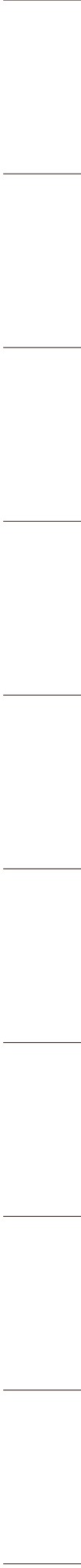
ニイガタブックライトでは、昨年に引き続き、「一箱古本市in現代市」の店主様や関係者より一箱本送り隊へ提供する古本を集めます。











一箱本送り隊に寄せられている情報では、最近の傾向として

「料理、手芸などの生活書のリクエストが多く、不足気味」だそうです。

「一箱古本市in現代市」に出店される店主の方で、一箱本送り隊へ送付する本を提供したいという方は、**6月10日当日、一箱本送り隊の本部までお持ちください**。その際に「一箱本送り隊用」などの目印を付けていただくと助かります。

ご協力、何卒宜しく願いたします。



title  title  title  title  title  title  title  title  title  title 

price _____ price _____ price _____ price _____ price _____ price _____ price _____ price _____ price _____ price _____ price _____
shop _____ shop _____ shop _____ shop _____ shop _____ shop _____ shop _____ shop _____ shop _____ shop _____ shop _____

